

ボランティア・
NPOの情報誌



66号

Jan. 2024

とくしま県民活動プラザ

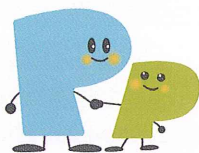
〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリンターミナルビル1F

tel:088-664-8211 fax:088-664-5345

e-mail:info@plaza-tokushima.com

https://www.plaza-tokushima.com

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



マスコットキャラクター プラザ

CONTENTS

特集 NPO法人 あまべマチ猫ネット
人と猫が共生できるまちをめざして

NPO法人 こどもの発達研究室 きりん
ひと 椎野 広久さん

～ お子様の成長で少しでも気になることがあれば
気軽に「きりん教室」に足を運んでほしい～

シリーズ この人から

リレー・フォー・ライフとくしま 実行委員長
徳島県がん患者団体協議会 代表

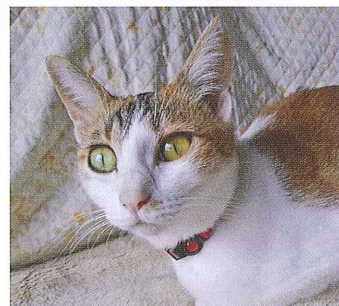
香留 美菜さん

その人らしく向き合えるように

事業紹介 「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業の活動報告

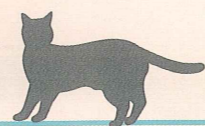
ハートリレー

No.66 郡さんから小川さんへ

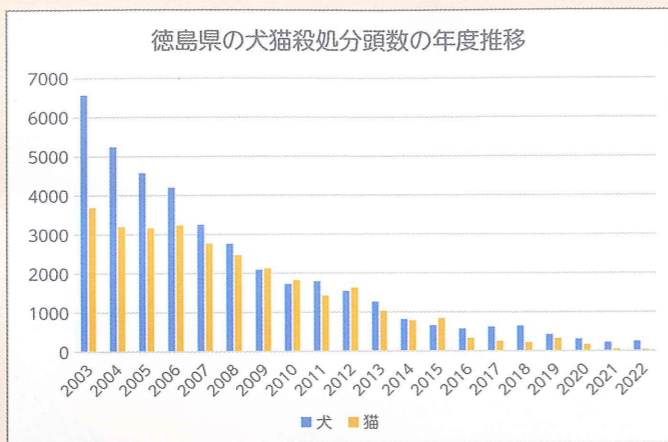


人と猫が共生できるまちをめざして
NPO法人 あまべマチ猫ネット

動物愛護管理法と犬猫の殺処分について



2005年、2012年、2019年と3回に渡り動物愛護管理法が改正されました。都道府県は、犬猫の引き取りを求められた場合は、基本的に引き取る事となっていますが、周辺的生活環境が損なわれる可能性がないと判断できる時は、所有者不明の犬猫の引き取りを拒否することができます。(第35条)その理由は、行政が安易に犬猫を引き取ることで殺処分となる可能性を懸念し、動物愛護の観点から望ましくないという考えがあるからです。徳島県でも動物の殺処分の件数は近年急激に減少しています。では果たして近頃の野良犬や猫たちはどこでどのような運命をたどっているのでしょうか。今回は海部地域で動物愛護活動をしている「NPO法人あまべマチ猫ネット」を特集します。



懸命に生きる命を救いたい ~人と動物が共存して生きる社会を目指して~

団体を設立したきっかけは、1件の多頭飼育崩壊でしたが、主なメンバーはそれぞれの地域で動物遺棄の問題や地域猫など個々に活動をしていました。ただ、こういった問題には個々で活動するより団体として集まって活動をしていかないと根本的な解決にはならない、と感じました。先にお伝えした多頭飼育崩壊は、高齢の方のおうちで飼い主の方が亡くなり、飼っていた多数の猫が行き場を失いました。多頭飼育で避妊去勢手術をしていないと、1匹の猫から3年後には、2000頭に増えます。こういった危機感を持たず、「メスなら1回は出産を経験させてあげたい」とか「オス猫は子どもを産まないから去勢しなくても・・・」という感覚で多数の猫を飼育しているお家もまだあります。

TNR*にかかる経費などは寄付金や海陽町の補助金を活用しながら活動してきました。ただ活動が広範囲になってきている為、海陽町だけではなく他の町とも連携しながらやっていく必要があります。町によって避妊・去勢手術に対する助成の金額も違いますが猫や犬には町の境目なんて関係ありません。今はメンバーに交通費も出せていない状況なので、寄付金や出来るだけ多くの助成金、クラウドファンディングなどを活用しながら活動を続けていきたいと思っております。

この活動をしていると、結局は人、人間の問題なんだと気づかされます。無責任に可愛がって餌だけやるのも人間。簡単に犬や猫を山の中や川に捨てるのも人間なんです。それでも小さな命は懸命に生きようとしています。だから私たちは、飼い主のいない猫や多頭飼育崩壊の絶滅を目指し、人と動物が共存して生きる社会を最終目標として活動しています。

*TNRとは[Trap:トラップ(捕獲)、Neuter:ニューター(避妊・去勢手術)、Return:リターン(元の場所に戻す)の略で不要な繁殖を防ぐ為のもの]



やまもと ちはる
理事長 山本 千晴 さん

すてきな仲間(メンバー)たち

海部の地域は高齢化が深刻です。飼い主の方が施設に入所したり亡くなったりすると猫は家に取り残されます。今も帰って来ない飼い主の帰りを忠犬ハチ公のように猫6匹が健気に待っている家があります。今後もこういったケースは増えると思っておりますので、包括支援や行政などともうまく情報共有して活動していきたいと思っております。



いせ だちさき
副理事長 伊勢田千咲 さん

2019年度の法改正により飼育動物の虐待や遺棄に対する厳罰化がなされました。その為飼い主は山奥などの見えない場所に動物を捨てます。こういったことを少しでも減らすため、小さな動物の命について考えてもらいたい、海陽町内の小学6年生を対象に、毎年「78円の命」という絵本の朗読会をさせてもらっています。78円というのは、動物の1頭あたりの殺処分の為の費用なんです。小さな生き物たちの命の重さや尊さについて知ってほしいです。



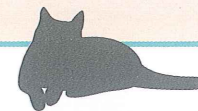
ぬしまふみこ
理事 沼島富美子 さん

海部の地域はまだ、TNRという活動が理解されていないように思っています。地域の野良猫を捕獲し手術をし元いた場所に返すと「なんで戻ってきたん」「どっか遠くの見えない場所に放してきて」と怒られることもあります。そんな時は何度か足を運び丁寧に話をし、地域の方々に一代で終わる猫の命について理解と協力をお願いするようにしています。



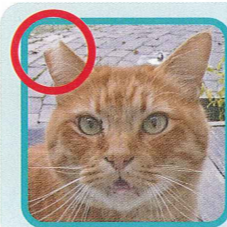
たなか なおみ
理事 田中 尚美 さん

あまべマチ猫ネットの活動内容



1 地域での猫のTNR活動

TNRの成功の秘訣は「すぐやる」「すべてやる」「続ける」事です。町民からの情報を元に野良猫や多頭飼育で近隣住民とトラブルになっている現場に駆けつけ状況調査をした後、地域の方々と協力してTNRを実施しています。今後も5か年にわたり計900頭のTNRを計画。



避妊・去勢手術をした猫は目印として片方の耳をカットしており、カットした耳の形から「さくらネコ」や「さくら耳」と呼ばれています。一代限りの地域猫の短い命をどうか温かく見守ってください。

◀協力: マイケルさん

2 譲渡会

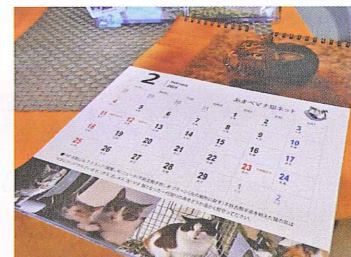
海陽町の商業施設やイベント等で開催。年間3回程度実施し、今までに里子に迎えられた猫の数は131頭。



「幸せそうな里子の猫」

3 啓発活動

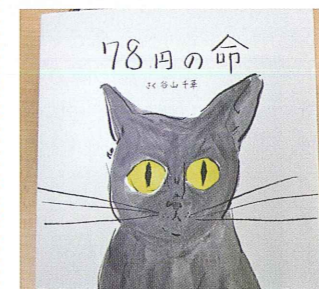
カレンダー、クリアファイルを作成し、販売しながら保護猫についての啓発活動を実施。収益金は全て団体の活動資金となる。



動物が遺棄されやすい場所にポスターを貼り遺棄を警告。



海陽町の小学校への出前授業 絵本「78円の命」の朗読会を実施。2021年度から「命の大切さ」「TNRの重要性」を子どもたちに伝える。



あまべマチ猫ネットの応援団



TNRに協力(避妊・去勢手術)をしている
石井町の大石獣医

皆さん、こんにちは。石井町で地域猫の診療所を開業している獣医師大石です。あまべマチ猫ネットさんとは2年前の開業当時の付き合いで、非常に動物愛護の熱意、責任感が強く、また遠く県南から片道3時間をかけて当診療所まで避妊去勢手術のために野良猫を連れて来られますご苦労に何時も感謝しております。今後益々犬猫のため頑張ってください。

NPO法人 あまべマチ猫ネット

連絡先
TEL: 080-1999-1122
E-mail: amabe1122@yahoo.co.jp
HPアドレス: https://amabe1122.wixsite.com/website



ホームページ

(取材: 森口・福良)



理事長
つひの
椎野
つひの
広久
さん

特定非営利活動法人 **きりん**
こどもの発達研究室

〒770-0866
徳島県徳島市末広5丁目1-64
TEL: 088-635-1272
HP: npokirin.org



～ お子様の成長で少しでも気になることがあれば
気軽に「きりん教室」に足を運んでほしい～

今回お話を伺ったのは
「NPO法人 こどもの発達研究室きりん」理事長の椎野広久さんです。

椎野さんは大学卒業後、香川県で社会福祉法人の施設に約25年間勤務。勤務7年目頃、施設の開放として実施された母子通園に係わるようになり、週1日、近隣の障がい児の送迎と療育を担当しました。これを機に、療育方法を学ぶために養護学校の訓練会に参加したり、リハ職の話に耳を傾けたりしているうちに療育技術への関心を深めていきました。感覚統合療法(※)を学ぶようになってから、学会の認定資格を取得するため、1994年に徳島の自宅1階で「きりん教室」を開設。やがて、自治体の乳幼児健診や発達相談も手伝うようになり、社会に認知されるよう法人格の取得を強く薦められ、2003年NPO法人を設立しました。

発達障がいには、自閉症スペクトラム障がい(アスペルガー症候群、自閉症など)、ADHD(注意欠如・多動性障がい)や学習障がいが含まれます。「言語」「社会性」「多動」「不器用」「学習(読み書き、計算)」という大まかな5つの特徴があり特性もさまざま。そのため支援・治療もそれぞれ異なります。発達障がいは脳の障がいであり、親の育て方やしつけの問題ではありませんが、育て方で培われる部分も多く、早期に支援を行うことで社会生活に適応しやすくなるそうです。そこで小児分野を専門とする言語聴覚士、作業療法士、公認心理師などが、子ども一人一人の得意不得意、今日の発達位置に立っているのかを、新版K式発達検査をはじめ様々な評価ツールを用いてアセスメントし、指導仮説を立て、根拠と専門的療育技術をもって支援・指導を行うことが重要。そのためには父親、母親が子どもたちの見た目、他人に言われたことで性急に判断しない。実態はわからないから、専門職がいるきりん教室に相談してほしいとおっしゃっていました。

現在きりん教室では児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援の活動を行っています。県内6か所に開設しているため、椎野さん自身子どもを直接みる時間が少ないことが今の悩み。常勤・パートを含め約60名のスタッフがいるのですが、そのうち言語聴覚士、作業療法士、公認心理師などの専門職が35%。今後は保育士と専門職が共に学び、療育の質を高め、手厚く支援をしていきたいそうです。椎野さんの背中を見て育った娘さんも、言語聴覚士の道へと進み、現在一緒に活動されていてとても頼りになる存在だそうです。

そして、活動をしていて嬉しかったことをお聞きすると「幼少期教室に通っていた子が大学生になり、きりん教室のお手伝いをさせてほしいと言ってきて、アルバイトをした子もいるんですよ」と笑顔でお話してくれました。

最後に…教室の名前「きりん」。たくさんいる動物のなかでなぜきりんなの？そんな素朴な質問にも、穏やかな表情と優しい口調で答えてくれた椎野さん。きりんは首が長く、大草原でも遠くまで見渡せる動物。子どもたちの発達や成長の先々を見守っていくという想いからきりに決めたそうです。おおらかで責任感の強い椎野さんらしいネーミングですね。

(取材: 桑村・佐藤)

(※) 感覚統合療法とは、発達に課題や困り感のある子どもに対して、リハビリや療育を行う作業療法で、子どもの学習、行動、情緒あるいは社会的発達を脳における感覚間の統合という視点で分析し、治療的介入を行うこと。

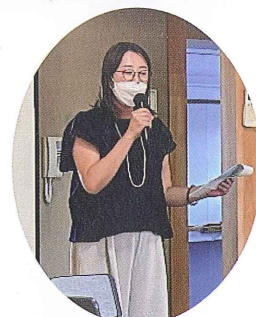
シリーズ この人から

その人らしく向き合えるように

リレー・フォー・ライフとくしま実行委員長 かつめ みな
徳島県がん患者団体協議会 代表 香留 美菜



2012年からリレーフォーライフとくしま実行委員長その後、「がん患者と家族の会 キャンサーライフとくしま」設立2017年、県内のがん患者団体と協働で「徳島県がん患者団体協議会」発足代表を務める。



先日、京都へ行ってきました。

目的は京都府がん患者団体等連絡協議会主催の「学び合いの会」へ参加することです。

この会は、主にこれからがん患者支援に携わろうとしている人のための勉強会であり、また現在活動しているがんピアサポーターのフォローアップとしての役割も兼ねています。

「がんピアサポート」とは、がんに関わる不安や戸惑いを感じている方々へ、がんを体験された方やご家族などが語り合うことなどを通して「その人らしく向き合えるよう」支援する活動です。

会では全5回を通して当事者として活動する方や行政担当者、生命倫理や臨床心理など専門性が異なる立場の方々からお話を伺い、その後にそれぞれ普段感じることや戸惑っている思いを語り合います。

徳島でも県主催の養成講座を修了した方々が患者サロンや、がん拠点病院からの紹介を受けて活動を行っています。私もその一人です。

私たちががんピアサポーターは、暮らしのなかでがんに関わるさまざまな葛藤や、生活のなかで感じることにまなざしを向けます。医療の専門的な部分には触れられませんが、お互いに共感できるものを見つめながら言葉を重ねていきます。

今回この会を経験して、同じような立場でもとに考えることは自分の思いや現在地を振り返ることに繋がり、何故この活動を行うのかという原点をあらためて考えました。

これからもがんに関わる方々が安心して語り合える場所を、心を込めて作っていきたくと思います。



「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業の活動報告

「ゆめバンクとくしま」では、団体、個人からの寄付を助成金として活用し、社会貢献活動に役立てています。今回は、令和5年度の活動報告(その1)です。

あけほの徳島

「ガーゼタオル帽子を作成し無料配布」

抗がん剤治療等で脱毛に悩む患者向けの、ガーゼタオル帽子を作成し、少しでも気持ちよくなるように願いを込めたメッセージカードと共に、病院や施設で無料配布した。



まんがの学校



一般社団法人 リボンス

「思春期青年期への相談啓発活動」

思春期青年期の悩み多き時期の若者に、年代の近い大学生ピアサポーターがコスメや啓発グッズを配布することで興味を持ってもらい、一人で悩まず相談することの重要性を知ってもらった。



一般社団法人

徳島県キャリアコンサルタント協会

「小学生キャリア教育「自分の未来の可能性を広げよう」」

カード式職業情報ツールであるOHB Yカードを使い、小学生を対象にワークショップを開催し、自己理解と職業理解を同時に深める機会としてもらった。



「子どもの目で地域環境を観察し、課題解決のアイデア考え実践してみよう!」

地域の自然を観察し学び、風土と共にある自分たちの暮らしを、どうデザインするかをゼロから考え行動する体験活動を実施した。

NPO法人 スポーツ巡回ネットワーク

「サッカー少年普及プロジェクト 四国の学校にゴールネットを届けたい!」

クラウドファンディングで集めた寄付金で、ゴールネットを購入し贈呈することで、子どもたちのスポーツ環境を整備し、夢の実現に繋げるきっかけとしてもらった。



ハートリレー

No.66 郡さんから小川さんへ



徳島サンバラボ 代表
おがわ かなよ
小川佳奈代さん

夢中になれることに出会えた幸せ

かなよさんからは私と同じニオイがするんです。

地元徳島を離れて暮らしていた時に偶然出会ってしまった南米のリズム、結婚や転勤で生活環境が何度変わっても「辞める」という選択肢が無かったもの、それが私のパンでありかなよさんのサンバです。

サンバは大雑把にいうと鳴り物(パテリア)と踊り子(ダンサー)とで構成されています。この組み合わせ、阿波踊りそっくりだと思いませんか。どれだけ地球上の距離が離れていても人種が違えども、人々は同じようなことをして楽しんでいるんだなあといつも感心しています。

さてこのブラジル発祥のサンバの楽しさを広めたいと、阿波踊りという強力なコンテンツが存在する地元で「徳島サンバラボ」を結成し活動している彼女は、笑顔とエネルギーに溢れていて夢中になれることに出会えた幸せを常に周囲に撒き散らしています。

いつか「徳島サンバラボ」が阿波踊り連に混じって栈敷に行く姿を私は見てみたいの。その時はにわかパテリアとして私も仲間に入れてね!

こおり ひと
文・郡 美都



とくしま県民活動プラザ

- プラザ開館時間 開館時間：10:00～18:00
- 【研修室利用時間】 火曜日～土曜日：10:00～21:00
- 日・祝日：10:00～18:00
- 休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/29～翌1/3)



● 公共交通機関をご利用の場合 ●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナルより、
- ・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリントーミナル」下車すぐ
- ・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリントーミナル前」下車すぐ

編集後記

4年間お世話になったプラザを12月で退職しました。夢に向かって新たな一歩を踏み出します! 今までありがとうございました!!

サヨナラ、(^o^)/

(大津)

2024年度生(2024年4月1日学習開始)願書受付中!

教育訓練給付制度対象講座

社会福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年6ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

詳しくはQRコードからHPをごらんください。



精神保健福祉学科 通信課程

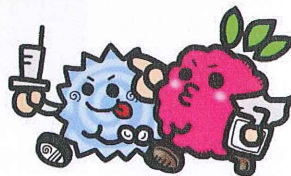
一般養成課程(1年7ヶ月コース) 短期養成課程(9ヶ月コース)

好きを極めてプロになる

専門学校 徳島県 徳島市 徳島県立徳島工業専門学校 徳島県立徳島工業専門学校 徳島県立徳島工業専門学校

〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10 TEL.087-873-2455

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

一生、いい歯と付き合うために。 「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人
徳島県歯科医師会

会長 松本 侯
徳島市北田宮 1-8-65 電話 088-631-3977

ホームページ



CLEANUP アドプト・プログラム吉野川

吉野川を私たちの手でもっときれいに!



参加団体
募集中!!

HPIはこちらから↓



吉野川交流推進会議

徳島県庁 未来創生政策課内
TEL:088-621-2743 FAX:088-621-2758